



3回シリーズ

取扱説明書の作成に関するセミナーのご案内

セフティマネジメント協会も皆様のご支援のお陰で設立20周年を迎えることになりました。これを機に心機一転、活動再開の第一弾として、当協会が最も力を注いでまいりました製造業における製品安全対策の講座を株式会社ダイテックの執行役員山口純治様を講師にお招きしてオンラインセミナーにて開催することに致しました。

製造物責任においては、表示・警告文も製品の一部とみなされています。そこで今回はこの分野に絞りまして国内外において想定される重大なリスクへの対策のポイントをご提案させていただきます。

新年度に当たり、ご多用とは存じますが、自社に内在するリスクを再確認していただきたく、現場で重責を担っている多くの方々のご参加をお待ち申し上げます。

特定非営利活動法人 セフティマネジメント協会
理事長 出崎 克

セミナー参加申込書

お申込み日： 年 月 日

NPO法人セフティマネジメント協会

info@npo-safety.org

日付	番号	セミナータイトル	法人会員	非会員
5/26	1	【01】分かりやすい取扱説明書の作成方法	1万円	2万円
6/24	2	【02】国際規格に準拠した取扱説明書の作成	1万円	2万円
7/22	3	【03】「海外向け取扱説明書」作成のポイント	1万円	2万円

企業・団体名	
ご住所	
TEL	

3種類のセミナーを同時にお申込みいただくと割引価格(20%OFF)が適用されます。

■ セミナー参加者

参加するセミナー番号に☑をしてください

参加者名		1 ☐
役職・部署		2 ☐
email		3 ☐

参加者名		1 ☐
役職・部署		2 ☐
email		3 ☐

参加者名		1 ☐
役職・部署		2 ☐
email		3 ☐

参加申込書にご記入の上、NPO法人セフティマネジメント協会へメールでお申込み下さい。
受付完了後に、参加者のメールにZoomのURLをお送りします。

特定非営利活動法人
セフティマネジメント協会

セミナー

5月

26日

【01】分かりやすい取扱説明書の作成方法

～ 取扱説明書のためのテクニカルライティングを学ぼう！～

日本でPL法が施行されて27年が経ちました。PL法の考えは、今や製造業者に対する世界共通のルールとなっており、多くの国際安全規格や国家規格の基礎となっています。ところが、安全に関する国際ルールから逸脱した取扱説明書が多く見受けられます。この状況では製品の海外展開において大きなリスクを背負うこととなります。このリスクへの対策の第一歩として、国内向け取扱説明書作成のポイントを学びます。

こんな方におすすめ！

- ・取扱説明書制作責任者および担当者
- ・設計部門の方
- ・品質保証部門の方

研修の効果

- ・認知心理学や脳科学の見地から、人の理解の仕組みを学びます。
- ・分かりやすい取扱説明書の作成方法を学ぶことができます。
- ・結果、誤解されにくい取扱説明書が作成でき、誤使用による事故やクレームのリスクを低減します。

開催概要

タイトル：分かりやすい取扱説明書の作成方法

日 時：2022年5月26日（木） 14:00～17:00 受付 13:45

会 場：オンラインセミナー【Zoom】

定 員：なし（3名以上で開催）

費 用：法人会員企業 10,000円/1名 賛助会員企業 無料

非会員企業 20,000円/1名

主 催：特定非営利活動法人セフティマネジメント協会

講師紹介**山口 純治 氏**

株式会社ダイテック

執行役員

コミュニケーションデザイン事業部 事業部長

コミュニケーション設計コンサルタント

使用説明、商品プロモーション、ブランディング、販売店や社員研修など、さまざまな情報伝達シーンで、「伝わる！コミュニケーション」を設計するコンサルタントとして、各種セミナー、トレーニング、研修、コンサルティングなどを多くの企業に提供している。

講師の言葉

本研修は、分かりやすい取扱説明書に関するセミナーです。脳科学や認知心理学の知見から人間の理解の仕組みを解説し、なぜ簡単に誤解が生じるのかをお伝えします。その上で、読み手に誤解なく“伝わる”情報設計、およびテクニカルライティングの基礎を学びます。

社内での取扱説明書の制作、および制作ガイドラインの制定に役立ちます。

お問合せ先

NPO法人セフティマネジメント協会 本部事務局

TEL：03-5938-8402 email：info@npo-safety.org

http://www.npo-safety.org



特定非営利活動法人
セフティマネジメント協会

セミナー

5月

26日

【01】分かりやすい取扱説明書の作成方法

～ 取扱説明書のためのテクニカルライティングを学ぼう！～

セミナープログラム

*プログラムは若干変更することがあります。

【はじめに】 開会のご挨拶

【第一章】 取説はなぜ分かりにくくなるのか

1. 改めて考え得る、取説の役割って何だろう？
2. 製品安全対策の考え方（関連法規と国際規格の要求）
3. 日本における「伝える技術」
4. ユーザー中心設計を目指して

日本人は、分かりやすく伝える技術を学ぶ機会がない

【第二章】 取説を作る前にしておくこと

1. 取説のコンセプトや制作方針を企画する
2. 取説の記載内容を決定する
3. 取説ガイドラインを作る

段取り八分、設計図がなければ「よい製品（取説）」は作れない

【第三章】 読み手はどうやって理解しているのか

1. コミュニケーションの原理原則を知ろう
2. メンタルモデルとは何か？
3. メンタルモデルに配慮した情報の出し方を学ぶ

人はいとも簡単に誤解する。

認知メカニズムに配慮した情報伝達のコツを学ぼう！

【第四章】 伝える技術！ 伝わる表現！

1. テクニカルライティング（Technical Writing）とは？
2. 「分かる！」「伝わる！」、誤解されない文章の書き方
3. 理解を助けるビジュアル表現

これで伝わる！ テクニカルライティングの技術を学ぶ

特定非営利活動法人
セフティマネジメント協会

セミナー

6月

24日

【02】国際規格に準拠した取扱説明書の作成 ～ 製品安全対策としての取扱説明書～

日本でPL法が施行されて27年が経ちました。PL法の考えは、今や製造業者に対する世界共通のルールとなっており、多くの国際安全規格や国家規格の基礎となっています。ところが、安全に関する国際ルールから逸脱した取扱説明書が多く見受けられます。この状況では製品の海外展開において大きなリスクを背負うこととなります。このリスクへの対策の第一歩として、国内向け取扱説明書作成のポイントを学びます。

こんな方におすすめ！

- ・取扱説明書制作責任者および担当者
- ・設計部門の方
- ・品質保証部門の方

研修の効果

- ・国際規格に準拠した取扱説明書を制作する上での考え方や執筆技術を身に付けることができます。
- ・英語や多言語に翻訳する際に翻訳者が誤解せずに正しく翻訳することができ、誤訳のミスを削減します。
- ・結果、誤使用による事故やクレームのリスクを低減します。

開催概要

タイトル：国際規格に準拠した取扱説明書の作成

日時：2022年6月24日（金） 14:00～17:00 受付 13:45

会場：オンラインセミナー【Zoom】

定員：なし（3名以上で開催）

費用：法人会員企業 10,000円/1名 賛助会員企業 無料

非会員企業 20,000円/1名

主催：特定非営利活動法人セフティマネジメント協会

講師紹介**山口 純治 氏**

株式会社ダイテック

執行役員

コミュニケーションデザイン事業部 事業部長

コミュニケーション設計コンサルタント

使用説明、商品プロモーション、ブランディング、販売店や社員研修など、さまざまな情報伝達シーンで、「伝わる！コミュニケーション」を設計するコンサルタントとして、各種セミナー、トレーニング、研修、コンサルティングなどを多くの企業に提供している。

講師の言葉

本研修は、製品安全の考え方、および取扱説明書に関する法規や国際規格の要求概要を理解することで、製品安全対策の取り組みの一つとして、取扱説明書に求められる役割を学びます。国際規格の要求事項に準拠した、取扱説明書の作り方について学びます。

社内での取扱説明書の制作体制構築、および制作ガイドラインの制定に役立ちます。

お問合せ先

NPO法人セフティマネジメント協会 本部事務局

TEL：03-5938-8402 email：info@npo-safety.org

http://www.npo-safety.org



【02】国際規格に準拠した取扱説明書の作成 ～ 製品安全対策としての取扱説明書～

セミナープログラム

* プログラムは若干変更することがあります。

【はじめに】 開会のご挨拶

【第一章】 消費者保護・労働災害防止の必要性

1. 消費者保護の国際的な流れ
2. 米国でのPL法制定と各国への波及
3. 欧州－製品安全と消費者保護のシステム
4. 中国－輸入工業製品の税関検査
5. 製造物責任法（PL法）を知ろうく条文理解と取扱説明書関連の判例＞

製品安全に関する歴史と現在を学ぶ

【第二章】 製品安全に関する法令欧州指令の要求

1. 欧州（EU）の法体系
2. 欧州指令とリスクアセスメントの義務化
3. 取扱説明書と法律の関係（取扱説明書に対する法的要求）

取扱説明書は法的にどのような位置づけなのかを学ぶ

【第三章】 製品安全に関する国際安全規格の要求

1. 国際安全規格は何を要求しているか
2. 国際規格と各国の規格
3. リスクアセスメントのやり方
4. 製品安全対策としての取扱説明書の役割

製品安全対策としての取扱説明書の役割を学ぶ

【第四章】 取扱説明書に関する国際規格の要求

1. シグナルワード
2. ISO 20607:2019
3. IEC/IEEE 82079-1:2019

取扱説明書に対する国際規格の要求事項を学ぶ



【03】「海外向け取扱説明書」作成のポイント

～ネイティブのスペシャリストから徹底的に学ぶ！
企画、英文ライティング、用語管理、翻訳発注～

日本でPL法が施行されて27年が経ちました。PL法の考えは、今や製造業者に対する世界共通のルールとなっており、多くの国際安全規格や国家規格の基礎となっています。ところが、安全に関する国際ルールから逸脱した取扱説明書が多く見受けられます。この状況では製品の海外展開において大きなリスクを背負うこととなります。このリスクへの対策の第一歩として、国内向け取扱説明書作成のポイントを学びます。

こんな方におすすめ！

- ・海外市場向け取扱説明書の作成に関わる担当者（業種は問いません）
- ・翻訳発注者
- ・業務管理者

研修の効果

- ・海外市場向け製品の言語展開に関する知識を習得できます。
- ・英文ライティングについての知識を身につけられます。。

開催概要

タイトル：「海外向け取扱説明書」作成のポイント

日時：2022年7月22日（金） 14:00～17:00 受付 13:45

会場：オンラインセミナー【Zoom】

定員：なし（3名以上で開催）

費用：法人会員企業 10,000円/1名 賛助会員企業 無料
非会員企業 20,000円/1名

主催：特定非営利活動法人セフティマネジメント協会

講師紹介



トビン・マイケル氏

株式会社ダイテック

英文テクニカルライター & トレーナー

アメリカ合衆国ミネソタ州生まれ。マニュアル制作会社にて、大手家電製品メーカーなどの取扱説明書の英文ライティング業務や多言語展開業務において約10年の経験を有する、海外向け取扱説明書のスペシャリスト。

英文ライティング、英文チェック、多言語展開、プロジェクトの全体管理、チーム指導、他企業へのノウハウ提供（セミナー講師）などを手掛ける。

講師の言葉

海外に製品を販売するとき、取扱説明書も現地の言語、法規や規格、仕様などに合わせる必要があります。その第一歩が英語の取扱説明書を作成すること。しかし、「英語に翻訳して終わり！」ではいけません。

海外向け取扱説明書の作成は翻訳とは別物なのです。英文マニュアル作成約10年間の経験を持つネイティブスピーカーとして、マニュアル作成計画から、英文ライティングのコツまで、分かりやすく多言語へ展開するための、「適した英文の取扱説明書作成」に必要なポイントを解説します。

このセミナーを通して、英文ライティングのポイントを押さえ、ぜひ業務に生かしていただきたいと思います。

お問合せ先

NPO法人セフティマネジメント協会 本部事務局
TEL：03-5938-8402 email：info@npo-safety.org
http://www.npo-safety.org



【03】「海外向け取扱説明書」作成のポイント

ネイティブのスペシャリストから徹底的に学ぶ！
企画、英文ライティング、用語管理、翻訳発注～

セミナープログラム

*プログラムは若干変更することがあります。

【はじめに】 開会のご挨拶

「バイクを叩く」物語～誤訳による実話～

某商品の日本語翻訳を紹介して、誤訳の影響を確認し、どのように対応すれば良かったかを解説します

ライティング・翻訳の準備

取扱説明書作成を企画する段階で、円滑かつ効率的な制作プロセスを構築するための必要な知識、準備するものなどを紹介します

- ・作成方法：どの言語で執筆する？
多言語作成の原文となる取扱説明書を日本語と英語のどちらで書けばよいかを比較する
- ・テクニカルライティングとは
取扱説明書作成には欠かせない、伝わるライティング、テクニカルライティング技術を紹介
- ・準備しておく物
用語集の概要と作成のコツ、スタイルガイドの概要と作成のコツ、事例集の概要と作成のコツ

製品の海外展開に向けたライティング

日本語でも英語でも、幅広いオーディエンスを対象にライティングする際に必要不可欠なライティングのコツを紹介します

- ・英訳に向けた日本語ライティング
- ・「グローバル英語」の紹介

翻訳品質を確保するコツ

英語取扱説明書を作成する上で考慮・検討が必要なポイントを紹介します

- ・仕向け地ごとの法規・規格遵守：製品の種類により、または出荷する仕向け地により、遵守しなければならない法規や規格がある（いくつかの例を紹介）
- ・多言語の制作に向けて：英語から他言語に展開する場合の検討ポイントや段取りについて紹介

ネイティブスピーカーの活用 ～なぜネイティブチェックが必要か～

その言語を母国語（ネイティブ）としている人が文章の誤りを直し、ネイティブが文章を読んだときに違和感なく、自然に読める文章にする作業の必要性を説明します。